

# 取扱説明書

ドイツ スキャンディア社製

机上式手動研磨台

WET GRINDER BENCH-TOP MODEL 3000



フリツチュ・ジャパン株式会社

本社〒231-0023 横浜市中区山下町252 Tel.045-641-8550 Fax045-641-8364

大阪営業所〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-12-5 Tel.06-6390-0520 Fax06-6390-0521

E-mail:info@fritsch.co.jp

URL:<http://www.fritsch.co.jp>

## 1) 用途

机上式湿式手動研磨台（以下研磨台）は湿式用研磨紙を使って金属系、セラミック系、鉍物系等の手動研磨をするために開発されました。

本研磨台はサンプルの取り扱いが少量で小規模の金属研究所、試験機関、大学や学校等に特に最適です。

## 2) 技術的特長

- ・ 研磨台本体はケイ素鋳鉄で作られた頑丈な作りとなっています。
- ・ 見事な塗膜のハンマートーン塗装と耐腐食材の使用により優れた腐食保護性能を保証します。
- ・ ガラス板上の4つの作業ライン（作業ステージ）は研磨作業のための土台です。
- ・ P240（約 58.5 $\mu$ m）、P400（約 35 $\mu$ m）、P600（約 25.8 $\mu$ m）、P1000（約 18.3 $\mu$ m）の粒度の研磨紙の使用をおすすめします。
- ・ 他に P180（約 78 $\mu$ m）、P1200（約 15.3 $\mu$ m）の研磨紙もご用意しております。詳細は SCANDIA のカタログをご参照ください。
- ・ 研磨紙は幅 80mm、長さ 20mのロールで供給されます。
- ・ 研磨紙ロールは研磨台本体後方の収納部分に収まります。
- ・ 研磨台は研磨紙の端を引っ張り、貼り付ける事で手早く簡単に取付出来ます。また研磨紙をほぼ 100%使い切る事が可能で、交換も簡単に行えます。さらに給排水口が統合されております。

### 3) 使用方法

- ①適切なテーブルの上に研磨台を置きます。
- ②水道蛇口と装置給水口（研磨台の上部の配管）の間をホースで繋ぎ、同様に研磨台排水口と下水設備に繋がります。（排水は工業用排水として処理願います。）
- ③連続作業の場合は、潤滑・冷却に優れた SCANDIA SPECIAL OIL VP と一緒に循環ポンプ SCANDIA 3050 を使用する事をお勧めします。
- ④研磨紙ロールを収納場所に収め、研磨紙ロールの収納部分の壁の隙間から研磨紙の端を引っ張ります。
- ⑤ガラス板の上に研磨紙を引き伸ばし、黒い PVC クランピングバーと研磨紙固定用偏心棒を併用して固定します。
- ⑥水道の蛇口を開き研磨台に流れるようにします。
- ⑦前段階の研磨傷が明らかに見えなくなるまで、各ステージ上で試料を研磨します。

### 4) 研磨台技術データ

給水口サイズ	:	【内径】約 7.6mm 【外径】約 10.2mm
排水口サイズ	:	【内径】約 16.0mm 【外径】約 19.5mm
給水口用ホースサイズ	:	【内径】約 9.7mm 【外径】約 15.3mm
排水口用ホースサイズ	:	【内径】約 20.6mm 【外径】約 24.6mm
外形寸法(W×D×H)(幅×奥行×高)	:	4 1 0 mm × 5 5 0 mm × 1 5 5 mm
重量(研磨紙除く)	:	約 1 1 k g
使用する研磨紙ロール	:	幅 8 0 mm × 長さ 2 0 m 巻
研磨可能な試料最大表面積	:	約 6 5 mm × 3 0 0 mm

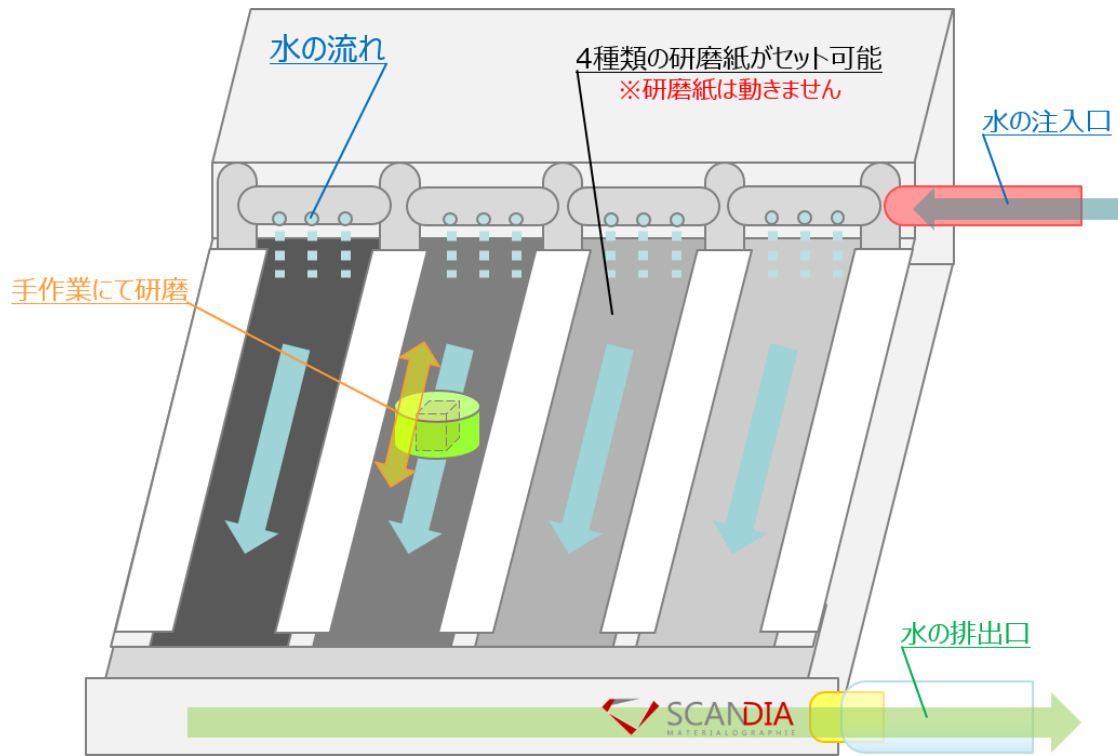


図1. 研磨台使用イメージ